

# 桜井市議会議員 やすおき つちや靖起

士 家



活動報告  
第66号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話・FAX 0744・43・9288  
https://tsuchiayasuoki.com

新型コロナウイルス感染症対策に日夜取り組まれている医療従事者の皆さまをはじめ、社会機能維持のため日々取り組まれている全ての皆さまに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。  
また感染症によりお亡くなりになられた方に対して、謹んでお悔みを申し上げますとともに、罹患されました方には、一日も早い回復を祈念いたします。

## 世界最高峰、市民会館にあるスタインウェイピアノ 無償貸し出し、市外流出計画をただす

桜井市議会の土家靖起は、昨年の市議会12月定例会で質問を行い、休館している市民会館にある「世界最高峰」と称されるスタインウェイ社のピアノ  
II 写真と説明IIを、3月にオープンする天理市の県立なら歴史芸術文化村へ市が無償で貸し出すことについて「事前の説明もなく、市民の宝を市外へ流出するのは対話が欠けている」と指摘、松井市長は「必ずや将来、市民会館を再開してピアノを活用したい」と答弁されました。

**土家** 市民会館にあるスタインウェイのピアノを市は、県立なら歴史芸術文化村へ無償で貸し出すとしている。市民団体の皆さんが反対の署名活動を展開し770人の署名が提出され、さらに600人以上の反対署名が集まっていると聞いている。なぜ長らく愛されてきたこの市民の宝のピアノを貸し出さなければならぬのか。

**市長** 県から休館中の市民会館のピアノの取り扱いについて問い合わせがあり、市の状況を説明したところ、無償貸し出しの申し出があった。  
**土家** ピアノは引き渡し後、適切に温度管理されたホール内のピアノ庫で保管し、定期的に演奏されるとの説明で、市としてはピアノのためには最適であると判断した。

**土家** 県からの要請とこのことだが、この貴重なピアノの流出について教育委員会として異論がなかったのかという思いがある。反対の署名活動が広がりを見せ、仮に貸し出しを行ったとして、

将来市民会館、あるいはその代わりとなる施設が整備された場合、本来に戻してもらえるのかと心配。県との貸し出し契約は締結しているのか。

**教育長** ピアノの貸し出し期間中については、県が歴史芸術文化村において責任を持って管理を行い、市が市民会館またはその他代わりになる場所の整備をした場合は、現状の通り引き渡すということを確認いただいている。県都の細かな貸し付け契約については、現在調整をしている最中。

**土家** 契約内容は「現在検討中」とのことだが、仮に契約された場合、その内容を閲覧できるのか。

**教育長** 契約内容については、締結後に公表させていただきます。

**土家** 市民の宝を貸し出す約束をする前に、市民に説明を行うべきだった。今回の件に関

しては市民との対話がない。ピアノ庫がなくても保管は十分可能と指摘する専門家もいる。今からでも貸し出しを白紙に戻すことはできないか。また市民会館の再開については。

**市長** 私が無償貸与を判断したのはピアノのことを一番に考えた結果。市民会館の再開については、できるだけ早い再開を目指し、プロジェクトチームにおいて検討を重ねている。

**土家** 市長はピアノの保管条件を唯一考えておられるわけだが、わたしは市民のために使い続けることが大事だと思う。時には立ち止まって再考することも必要ではないか。ぜひ市民の声、思いをそとして願いを受け止めていただきたい。

### 反対の署名運動広がる

スタインウェイピアノ：世界最高峰の歴史あるピアノ。昭和56(1981)年に桜井市が市民会館を建設した際にこのピアノを購入。市内の音楽、文化団体から「スタインウェイを桜井から出さないで」とした要請書が市に出され、1300人以上の署名が集められています。



# 中和幹線沿道大福地区への企業誘致

# さらなる迅速化が必要

昨年市議会12月定例会に、市が企業誘致に力を入れている中和幹線沿道大福地区企業誘致条例の一部改正案が審議されました。しかしながら、同地区への企業誘致の実績は10年間で面積比で30%が実現したのみで、誘致への取り組みについてさらなる市のスピードアップが求められています。

**土家** 条例改正案の期限延長については、引き続き企業誘致を図るためとのことだが、現在までの企業誘致数、出店の状況、市から奨励金を出した企業の数などについて聞きたい。

**まちづくり部長** 中和幹線沿道大福地区はエリア全体の面積が17万2000平方メートル、出店済の面積が4万3000平方メートル。率にすると25%が出店済という状況になる。また令和4年春の営業開始を目指して造成工事中の事業者を含めると、30%になる。

奨励金の指定企業の要件は、地区内に1万平方メートル以上の事業用地を取得、または事業用定期借地権を設定して賃借し、事業用の施設を新設、または賃借施設を新設してもらうことになっている。

奨励金の種類は「企業立地奨励金制度」「賃借施設設置奨励金制度」またこれらに付随する「埋蔵文化財発掘奨励金」「雇用奨励金」がある。これまで5社の出店があったが、奨励金の交付件数は、平成27(2015)年に立地したドン・キホーテホールディングス1社のみになっている。

サービス施設の立地を誘導する」として内容から「工場を併設した店舗を含む商業集客施設等の立地誘導を図る」と変更した。

**土家** まだまだ推進が必要。現状。当該地区の北エリア7・5分は地元の要望もあって、「準住居地域」から「準工業地域」への用途変更を県と調整を進めていると聞いているが、この変更によってどのような緩和になり、出店につながるのか。

**都市建設部長** 中和幹線沿道大福地区の用途変更、地区計画の変更については、より出店しやすい環境を整備するため、地元と県との調整を進めている。

市としては、都市計画マスタープランの改定を終え、当該地区のまちづくりの方針として「沿道型の商業



中和幹線沿道大福地区への企業誘致状況

誘致件数 **5** 件 誘致面積 **30%** 奨励金活用 **1** 件

変更によって、工場部分の面積を今まで以上に拡大することが可能になる。

**土家** 庁内の商工振興課、あるいは企業誘致係では、誘致のためにどのような努力をしたのか。また奨励金の要件にある「面積1万平方メートル以上」については、見直し、緩和の検討は行ったのか。

**都市建設部長** 大阪市内で開催される県主催の企業立地セミナーに参加し、桜井市の専用ブスを設けて当該地区の商業施設の誘致、工場誘致の活動を展開している。

また当該地区の持つポテンシャルについては、商業サービス施設や物流施設、工場などの生産施設の誘致に伴う効果についてヒアリングを行うとともに企業ニーズの調査、情報収集をしている。

奨励金の要件の見直しについては、1万平方メートル以上という現行の面積要件の緩和も検討した。しかし、現在出店されている企業のうち、4事業者の敷地面積が4700平方メートルから8800平方メートルという状況から、緩和をすると既に出店した企業と、今後出店する企業との間に不公平が生じ

る。これらを考慮し、緩和しないことを決めた。

**土家** この企業誘致については地元区長をはじめ、役員が精力的に尽力いただいている。中和幹線沿道大福地区の企業誘致促進について、市長の意見を聞きたい。

**市長** この地域の企業誘致に関しては、平成23(2011)年に市街地区域に編入してからちょうど10年が経過する。しかしながら誘致面積は30%にとどまっている状況。

奨励金制度の運用期間の延長、また用途地域の変更、地区計画の変更により、出店スピードを一層加速させていきたい。市税収入の増加につながるためにもこれらの取り組みを加速させたい。

用途地域、地区計画の変更については今後、地権者への説明会を実施し、令和4年度中に変更完了を目指

## 市民の宝、対話なく県外流出 市の誠実な対応を願う

新年あけましておめでとうございます。昨年は土家の議会活動に格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

市議会12月定例会で土家は、市民会館にある市民の宝であるピアノが無償で市外へ持ち出されることについて、そのいきさつを質問させていただきました。

市はピアノの保管・管理のためには最適なこと、また、市民会館やその他の設置場所が整備された際には、県から現状引き渡しの確約を得ていると説明。市民への説明がなかったことや白紙に戻せないか聞いた。事前の説明がなかったことや、本当に戻ってくるのかといった不安から多くの反対署名が集まっています。今後、市民の気持ちに寄り添った誠実な対応をしてくれることを願っています。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)

## 10万円一括現金給付求める

国の子育て支援

### 迅速な決定と早期情報発信

18歳以下の子どもへ1人あたり10万円を給付する国の子育て支援の給付金についてわたしは、年内の一括現金給付を求めて質問を行いました。松井正剛市長は「児童手当の制度を受ける15歳以下については年内に10万円一括給付を行う」と表明され、対象者の振込手続きが完了しました。

また16歳から18歳の高校生世代についても、「子育て世帯や市民の皆さんが早い支給を望んでいる」と指摘し、10万円の一括給付を求めました。

松井市長は「高校生の年代のお子さまを持つご家庭の皆さんにおいては、進級や卒業、新生活の準備など出費が増えるものと認識している。1日でも早い10万円の一括給付を目指す」と答弁されました。

今回、政府の給付方法が二転三転しましたが、わたしは他市では早期に一括給付を表明されるなど、早期に情報発信をされている現状があるとし、今後は迅速な決定と、情報発信に努めるよう求めました。

年始などのあいさつは議員活動を優先させていただきますため、略させていただきます。市民の皆さま方には、何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。



## つちや靖起

現職  
桜井市議会議員  
桜井市ソフトボール協会顧問  
戒重区顧問  
桜井西地区社会福祉協議会会長  
NPO法人ひかりの森理事  
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長  
市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

主な経歴  
桜井市市長公室長  
平成15年桜井市議選初当選  
平成19年桜井市議選2選  
平成23年桜井市議選3選  
平成24年桜井市議選4選  
平成27年桜井市議選5選  
平成31年桜井市議選

<https://tsuchiayasuoki.com>

633-0064 桜井市戒重57 電話・FAX 0744-43-9288